

令和7年度 自己評価結果

けやき認定こども園では、保育の質の向上を図るために自己評価を実施しました。今後も、より良い保育を提供できるよう努力して参ります。

達成度	A	ほぼ達成 (80%以上)
	B	概ね達成 (60%以上)
	C	変化の兆し (40%以上)

課題項目	具体的な取り組み	評価		
		A	B	C
教育・保育 理念・内容	① 園の教育理念及び教育方針等の重要事項を理解しているか。	○		
	② 乳幼児の実態を踏まえた教育、保育目標を設定できているか。	○		
	③ 子どもを一人の人として尊重し、接することができたか。	○		
	④ 教育・保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識しているか。	○		
	⑤ 生活習慣を無理なく身に着けていけるよう、本児のペースに合わせるよう努めることができたか。	○		
	⑥ 子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を十分に理解しているか。	○		
	⑦ 発達の姿や興味の対象を把握しながら、個々の思いを大切に受け止めることができたか。	○		
	⑧ 季節感や日本の伝統行事などを指導計画の中に取り入れる事ができたか。	○		
園の職務	① 気になる子について、リーダーや園長に速やかに相談、報告することができたか。	○		
	② 職員会議で自分の意見や異なる結論が出た時も、それに理解を示し協力することができたか。	○		
	③ 本来の業務以外に園にかかわる仕事を頼まれた時、職務の一端と考え、責任をもって引き受けたか。	○		
	④ 個人情報の保護に配慮し、園児や家庭についての秘密を漏らす事がないよう徹底したか。	○		
	⑤ 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	○		
行事について	① 園が従来から続けてきた「行事」について、その意味を十分に考えたか。	○		
	② 子どもの生活や遊びから発展していくような、行事への取り組みができたか。	○		
	③ 行事ねらい、計画、実施、評価、改善の体制が十分な時間を掛けて行われたか。	○		

保育教諭としての資質向上	① 自分の教育、保育を振り返り、問題点や課題を見つけるように努めることができたか。	○		
	② 教育、保育に対する同僚や上司からの意見を参考に、子どもの健やかな育ちの為に、さらに創意工夫して保育にあたることができたか。	○		
	③ 自身の教育、保育実践について、他の職員が把握できる保育日誌等の記録が十分に書けたか。		○	

地域の 子育て支援	① 地域の未就園児を対象とした、園庭開放を基本的に毎週水曜午前中に行った。	○		
	② 地域の未就園児を対象とした親子への遊びの設定は充実したものであった。	○		
	③ 職員による”子育て相談”は、在園児以外の保護者にも開かれたものになっているか。		○	
	④ ”子育てについて”等、保護者を対象とした学習の機会を設けているか。		○	

安全管理	① 地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練に参加し、災害時に何をすべきか把握しているか。	○		
	② 園庭にガラスの破片等、危険なものがないか調べたり、砂場を掘り返して整える等、安全な環境づくりの努力をすることができたか。	○		
	③ 備品棚やピアノ等の転倒防止、その他、事故が起こらないように、保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めたか。	○		
	④ 不審者対応の訓練に参加し、いざという時の対処法等、全員で確認することができたか。		○	
	危険のある個所を見つけた時には放置せず、直ちに営繕担当者へとつなげることができたか。	○		
	⑤ 登降園時の事故防止について、特に道路の歩き方等について、積極的に伝えることを意識できたか。	○		

衛生管理 保健管理	① 保育終了後、保育室、廊下、園舎内の清掃を必ず行ったか。	○		
	② 子どもの体の些細な変化や異常に速やかに対応する為に、常的な体調や機嫌の状態を掴むよう努めたか。	○		
	③ アトピー性皮膚炎、食物アレルギー等の子どもに対して医師の指導のもとに適切な対応をしているか	○		
	④ 睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を把握する等、SIDS等への予防に努めたか。	○		

研修計画	① 全職員、春と夏の2回、外部講師を招いての園内研修に参加し、交流を図りながら共通の理解を深める事ができたか。	○		
	② 埼玉県、全埼玉私立幼稚園連合会、西武地区、狭山市主催の研修会や業者主催の研修会に参加し、自身の学びを深める事ができたか。	○		

特別支援	① クラスに限らず園全体で、互いの良さを感じ取り、楽しく交流できる雰囲気づくりに励む事ができる。	○		
	② 障害児により適切な教育、保育をする為に、様々な専門機関等と連携できたか。		○	
	③ 気になる子について、どのような支援が必要なのかスタッフ全員で話し合ったか。		○	
	④ 気になる子どもに対して、保育補助職員と連携して日々の保育にあたることができたか。	○		
クラス運営	① 月目標、ねらいは、乳幼児の実態に即したものとなっているか。	○		
	② 未満児クラスと以上児クラスとの異年齢交流は、充実した内容となっているか。		○	
	③ クラス運営に関わる資料は適切に保管され、集積されているか。	○		

○今後、取り組む課題○

- ・ 教育方針への捉え方、園の職務については、十分な理解がなされ、職員一人一人の意識を感じることができた。
- ・ 認定こども園の機能として、今後は、地域の親子を呼び込めるようなイベント等を企画し、子育てが孤立しない地域作りにつなげていきたい。
- ・ もう少し、全体会議の時間を捻出したい。幼保の職員の共通意識を保つ為にも、積極的な意見交換を行いたい。
- ・ 安全面についての研修、講習は、全員で受けることが難しいので、ツールを使って、学びを深めていきたい。
- ・ 不審者対応研修を充実させていきたい。
- ・ 体験農場での活動が定着してきているので、園児がより楽しめる工夫をしていきたい。
- ・ 園だけではなく、近隣の清掃、環境づくりに努めることを、職員全体で意識を高めていきたい。
- ・ 以上児クラスの異年齢保育の充実さを取り入れ、未満児と以上児との交流の機会を増やせるように工夫したい。